

# 令和4年度第28回東海高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

## 実施のためのガイドライン

### 1 基本方針

本大会は実施のためのガイドラインに沿った大会運営を実施し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で大会を実施する。

なお、実施に際し以下の点について特に留意する。

- 事前健康観察の徹底（感染の疑いのある者は参加させない）
- 大会会場での感染防止対策の徹底
- 大会等での感染者の确实且つ迅速な対応及び報告

### 2 大会関係者の参加について

下記の手順で健康観察を実施し、大会に参加する。

- (1) 大会参加生徒は大会参加同意書（別紙1）を顧問に提出する。顧問は、提出された同意書を1カ月保管する。
- (2) 大会会場および控室に入場する者は、各学校で毎日の健康調査等を行い、大会前2週間の健康状態を把握し、健康調査一覧票（別紙2）を受付に提出する。（1/14、1/15それぞれに提出する。1/13の練習に参加する場合も提出する。）
- (3) 学校での健康調査は、別紙2の項目を遵守し、県ごとに定められている様式で行うこと。
- (4) 大会前2週間の健康調査の項目に問題のある生徒は参加することができない。ただし、発熱等の症状がなくなり、新型コロナウイルス感染の疑いがない場合はこの限りではない。
- (5) 大会当日の体温が37.5度以上など体調のすぐれない場合は参加することができない。
- (6) 国評価レベル2以上では、同居家族に発熱等の症状がある場合は参加することはできない。（医師等により新型コロナウイルス感染症でないと判断されている場合を除く。）
- (7) 濃厚接触者と指定された者は、待機期間中は参加することができない。
- (8) 大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

### 3 大会会場の感染対策について

- (1) 会場内の設備（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、定期的に消毒する。
- (2) 室内で実施する場合には、密閉空間とならないよう、定期的に窓を開け十分な換気を行う。
- (3) 使用会場の感染対策に関するガイドラインや利用規約等に沿った運営を行う。

#### 4 大会会場での行動について

- (1) 会場内ではマスク（不織布が望ましい）を着用する。ただし、運動中を除く。
- (2) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。消毒液等は、可能な限り参加校、個人で準備する。
- (3) 他の参加者・指導者・大会関係者との距離（できるだけ2 m以上）を確保する。
- (4) 大声での声援や会話は控える。
- (5) ごみの持ち帰りを徹底する。
- (6) ミーティングは三つの密が揃う場面はもちろん、一密であっても避け、マスク（不織布が望ましい）を着用するなどの感染対策に十分に配慮する。
- (7) 更衣室・控室等では、一度に入室する参加者の数を制限し、他の参加者と密になることを避ける。
- (8) スポーツドリンク等の飲料については、ボトルを共用しない。ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用する。
- (9) 飲食時は黙食とし会話をしない。

#### 【一般来場者（観客）】

- (1) 無観客とする。

#### 5 専門部追加対策について

- (1) 開会式、閉会式は実施しない。表彰式は各階級が終了後に簡略化して行う。
- (2) 練習会場、試技会場に入ることができるのは1選手につき、監督とセコンドの2名までとする。
- (3) ウォーミングアップ、試合で使用する器具は1選手が終了するたびに、アルコール消毒をおこなう。ただし、連続試技の場合はこの限りではない。
- (4) 試技のビデオ撮影は、自校の選手が行う2つ前に入場し、終了後は会場外で待機する。また、三脚の使用は認めない。（一脚の使用はこの限りではない）